

⑤ 資料を作成する

資料作成機能でできること

JVDNシステムのデータ表示画面では、システムが自動的に作成した様々なデータ画像を見ることができます。この機能は、多くのデータを素早く見たい場合や、データの有無を確認したい場合には便利です。しかし、図の表示範囲を変えたり、色を変えたりするなど細かい設定の変更はできません。資料作成機能を使うと、好きなデータを選んで自分独自の図を作成したり、異なるデータを並べて比較したりすることができるようになります。資料作成機能では下記のことができます。

1. 好きなデータを選んで図を作成し、表示できます。時間軸を変えたり、表示範囲を変えたり、色を変えたりすることができます。
2. 異なるデータを並べて比較することができます。
3. 自分が作成した図を保存し、好きな時に見ることができます。
4. 図を編集可能なフォーマットでダウンロードできるので、イラストレーター等のソフトウェアを使って編集してレポートなどに利用できます。
5. 研究グループ内で作成した図を共有できます。（グループへの参加が必要です）

注意点1

この資料作成機能では、異なる火山のデータを同じ図で表示することはできません。

資料作成機能の利用方法

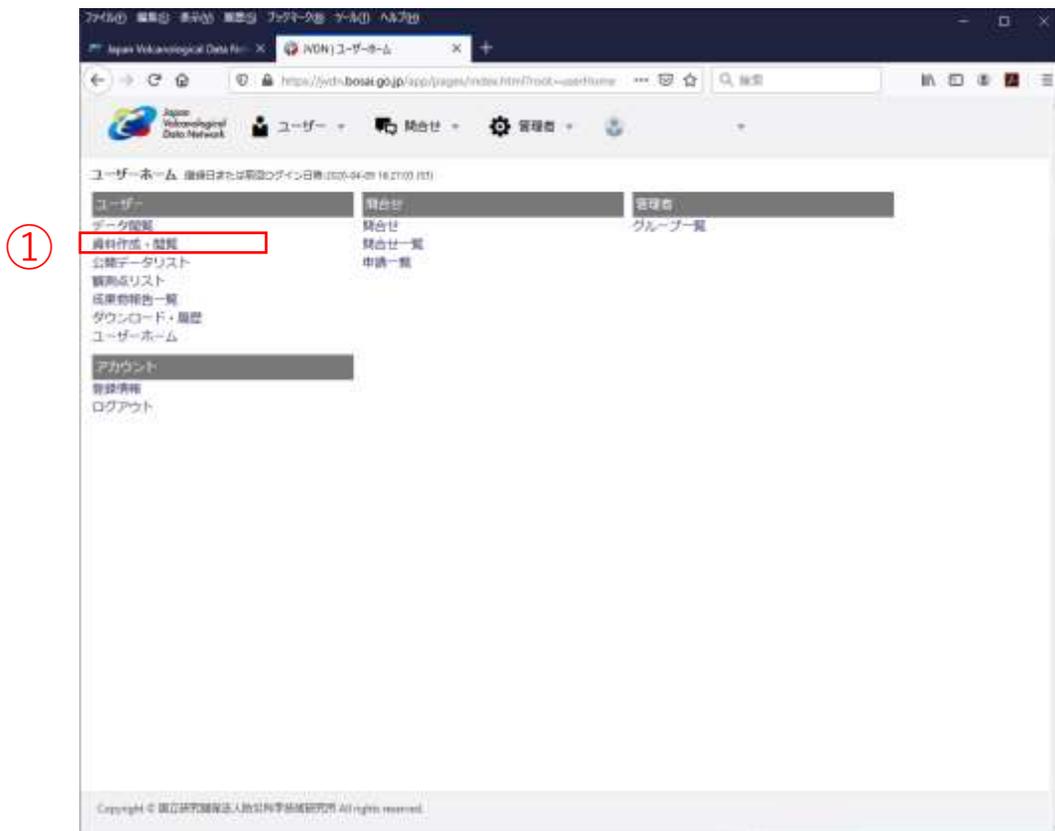


図1 ユーザーホーム画面

①ユーザーホーム画面の「資料作成・閲覧」をクリックしてください。

新しい資料の作成

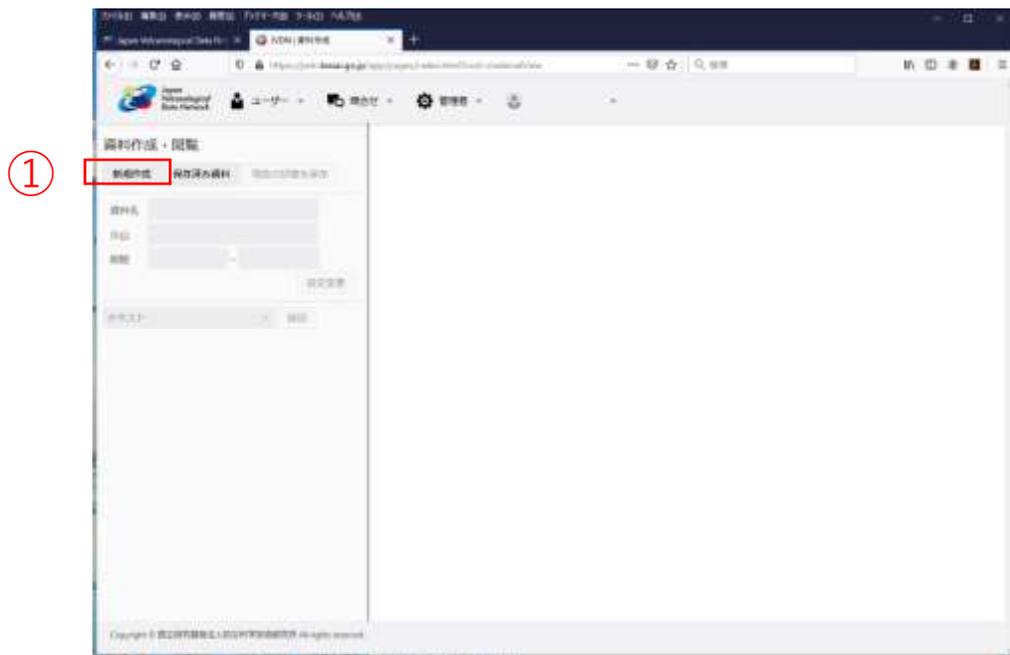


図2 資料作成・閲覧画面

① 新しい資料を作成する場合は、資料作成・閲覧画面の「新規作成」をクリックしてください。

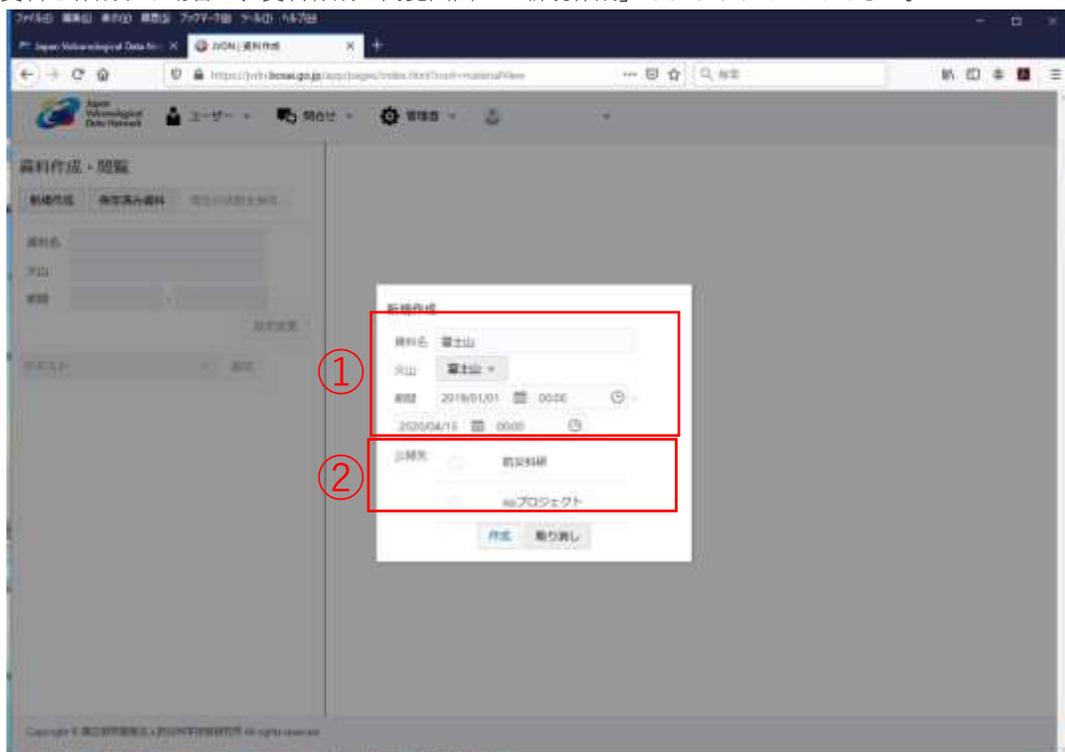


図3 新規作成画面

- ①作成する資料の資料名を入力してください。作成する火山と期間も選択してください。
- ②グループで資料を共有する場合は、共有するグループにチェックを入れてください。グループに所属していない場合は、選択できません。チェックを入れない場合は、作成したユーザだけが資料を見ることができます。

注意点 1

選択期間が長いと表示に時間がかかる場合があります。

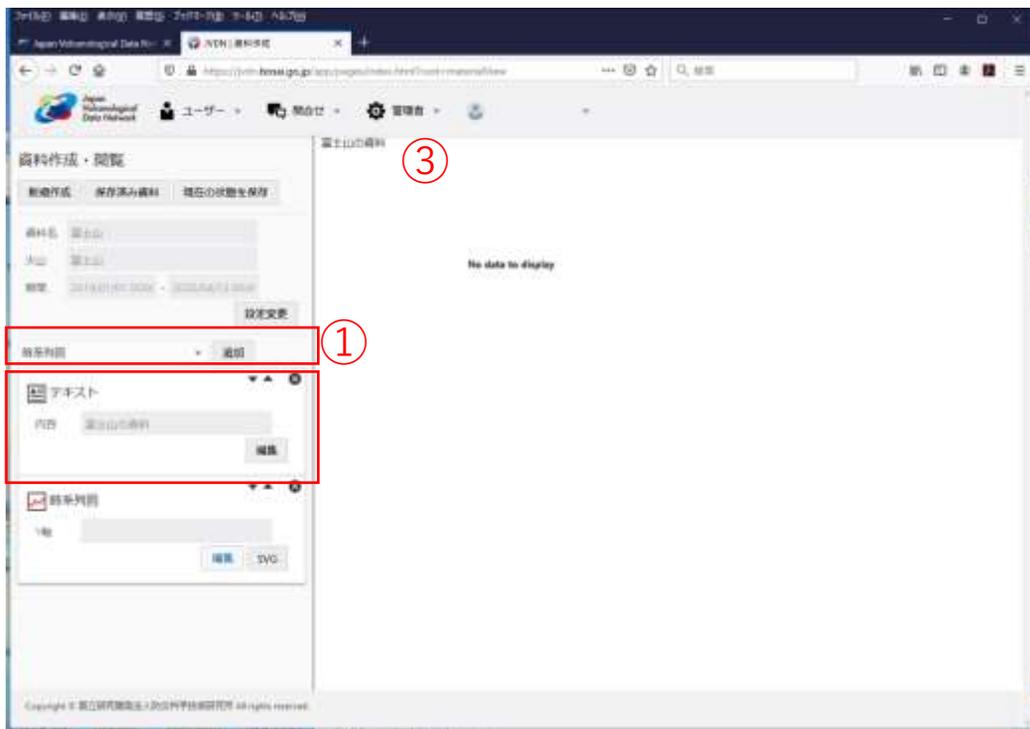


図4 図の追加

- ①プルダウンメニューから、作成したい図を入れて「追加」を押してください。
- ②テキストを選択すると、テキストを入力することもできます。「編集」をクリックすると、文字を入力できます。
- ③文字を入力すると、資料中に文字を入力できます。

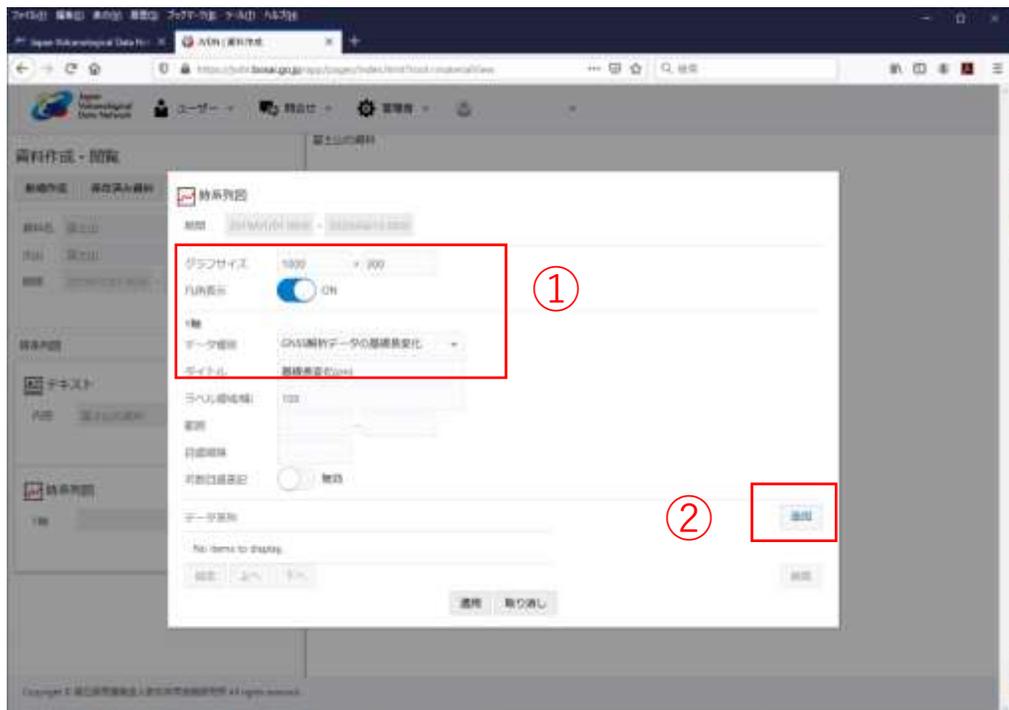


図5 時系列図の追加

- 時系列図を作成する場合は、プルダウンメニューから「時系列図」を選択し、「追加」を押してください。
- ①図を作成するデータの種類をプルダウンメニューから選択し、グラフサイズ、タイトルを入力してください。
- ②データを追加する場合は「追加」を押してください。

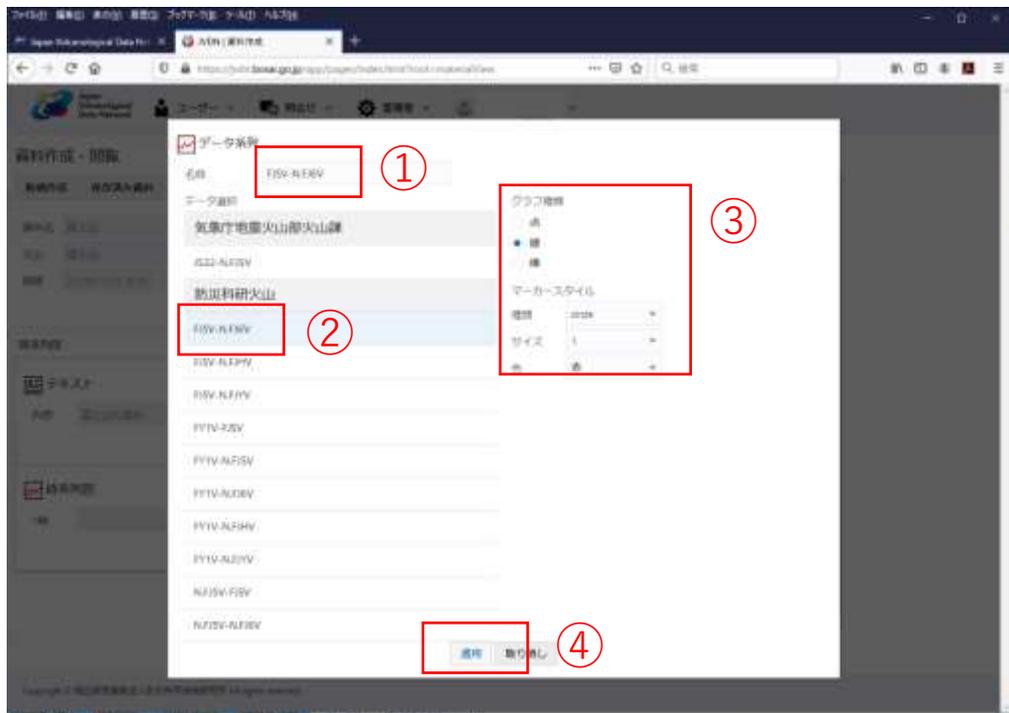


図6 入力内容確認画面

- ①データの名称を入れてください。
- ②リストから図に表示するデータを選んでください。
- ③図の表示の仕方を選んでください。
- ④選択・入力が終わったら「適用」をクリックしてください。

注意点 2

火山や観測項目によっては、データが無い場合があります。

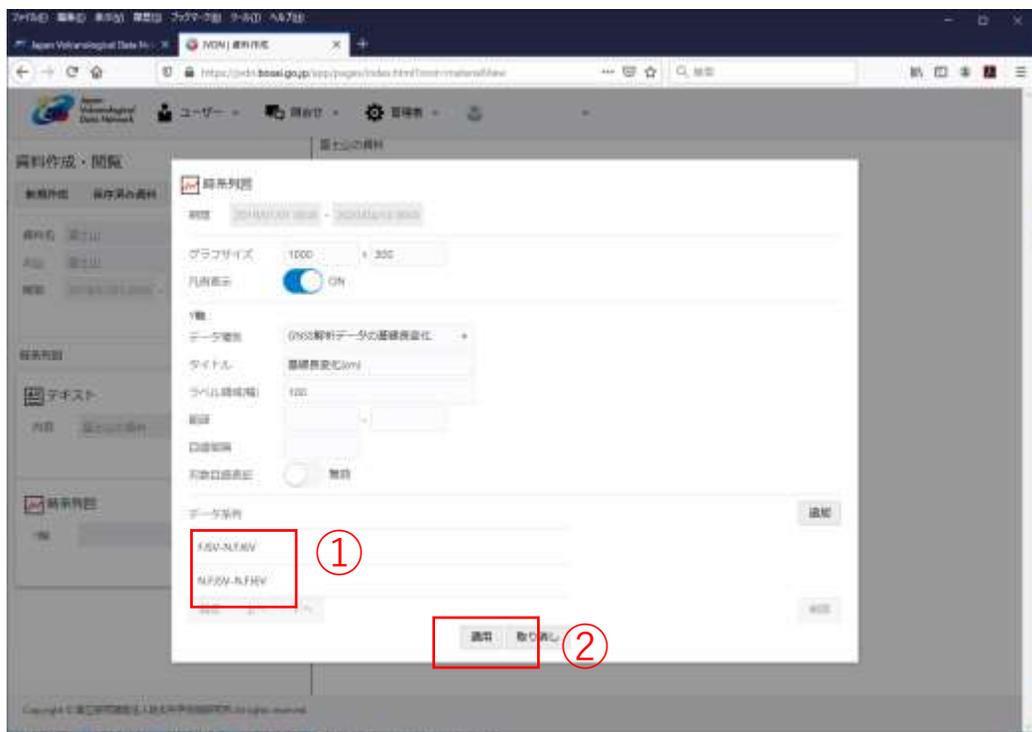


図7 時系列データの追加

- ①同じ図にデータを追加する場合は、さらに「追加」を押してデータを追加してください。
- ②追加が終わったら「適用」をクリックしてください。

注意点 3

時系列図には1種類のデータしか表示できません。2種類のデータを同じ図に表示する場合は、時系列図（2軸）を選んでください。 4

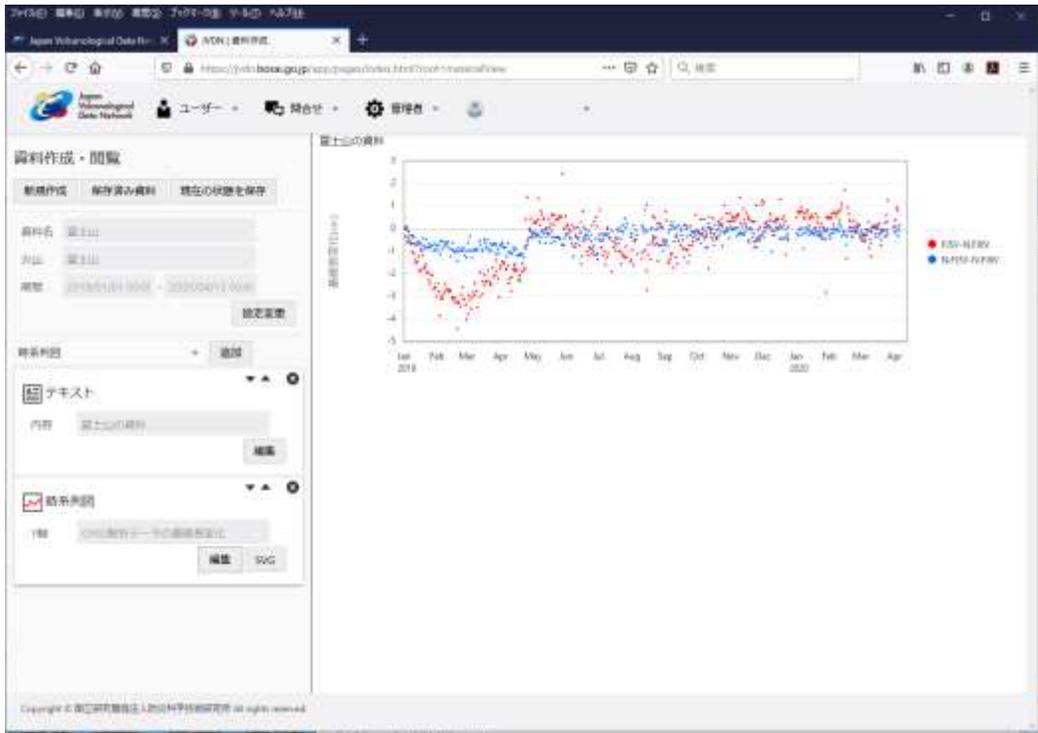


図8 時系列図の表示

選択した時系列データが表示されます。

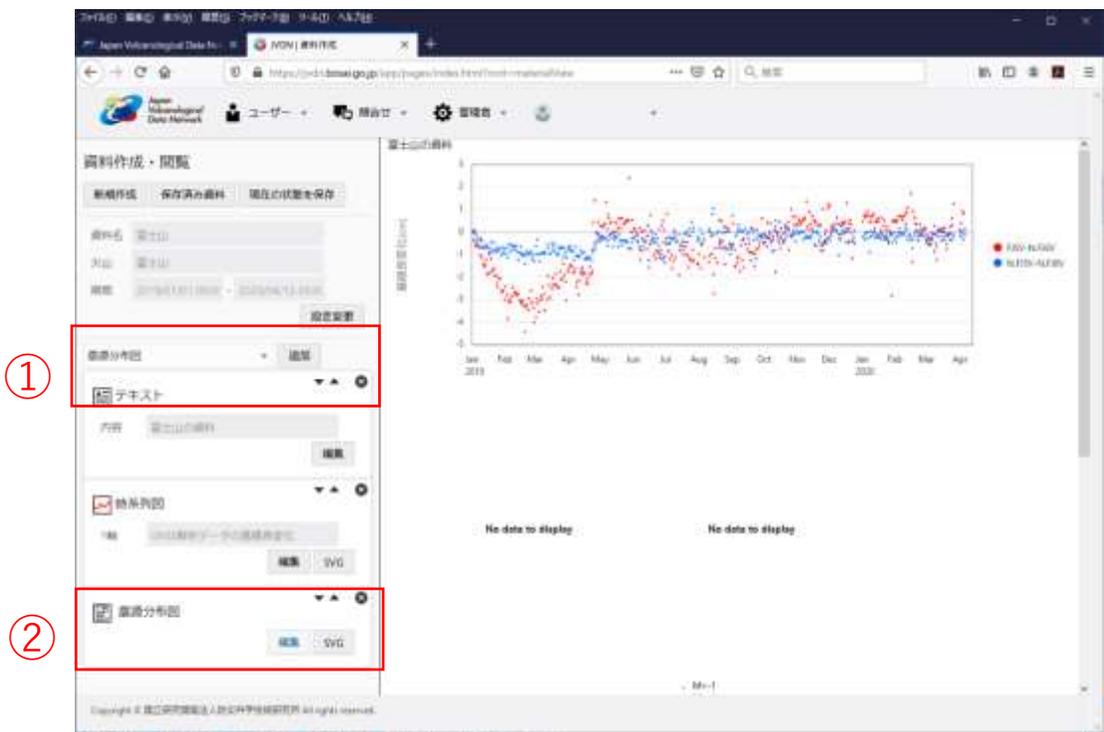


図9 震源分布図の追加

- ①さらに図を追加する場合は、追加する図を選んで「選択」押ししてください。ここでは震源分布図を選んでいきます。
- ②「編集」を押ししてください。

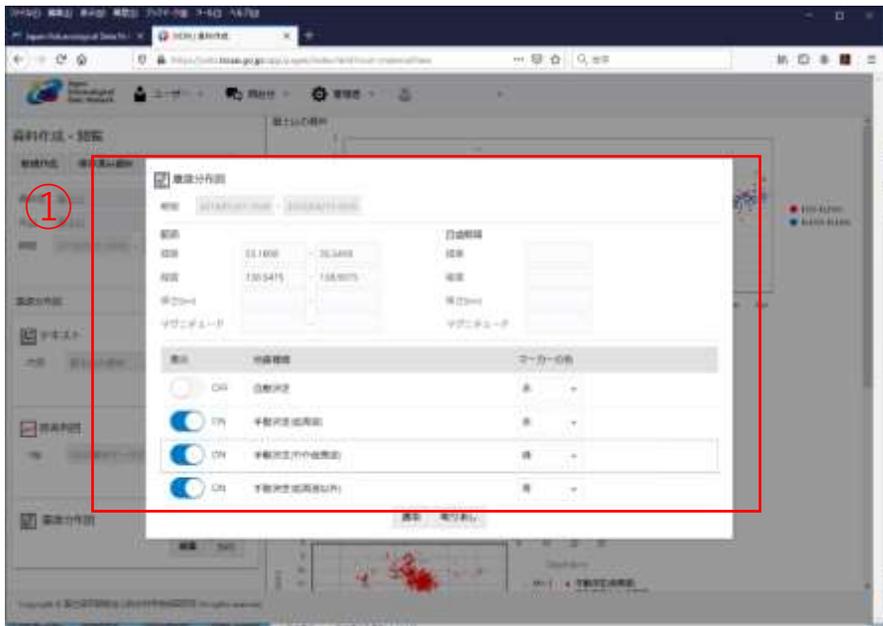


図10 震源分布図設定画面

①表示する地図の範囲、マグニチュードの範囲や、地震のタイプを選択してください。
また、地震のタイプごとに色を変える場合は、色を選択してください。

注意点4

表示できる震源データは、防災科学技術研究所が地震波のP波やS波を手作業で読み取って計算したものです。したがって、データが作成されるには10日から2週間程度かかる場合があります。
また、防災科学技術研究所が計算しているのは、霧島山、富士山、伊豆大島、箱根山、伊豆東部火山群、三宅島、那須岳、小笠原硫黄島だけです。その他の火山は表示できません。

注意点5

自動判定は、コンピューターが自動で計算した震源です。火山性地震のほとんどは規模が極めて小さい地震のため、精度があまりよくありません。使用する場合は注意してください。

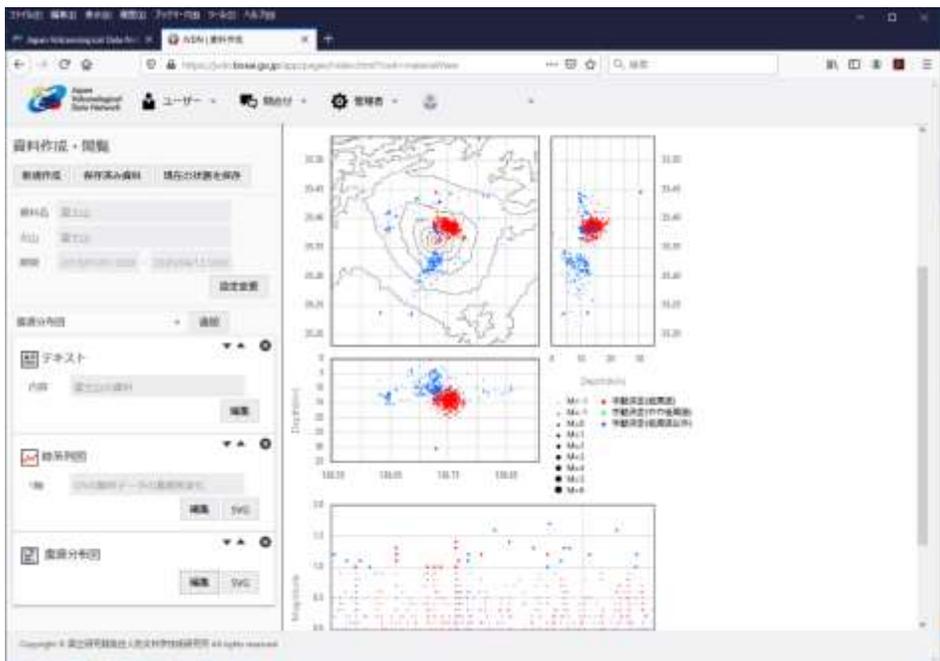


図11 震源分布図

図10の設定画面の「適用」をクリックすると、図が表示されます。

作成した資料の保存

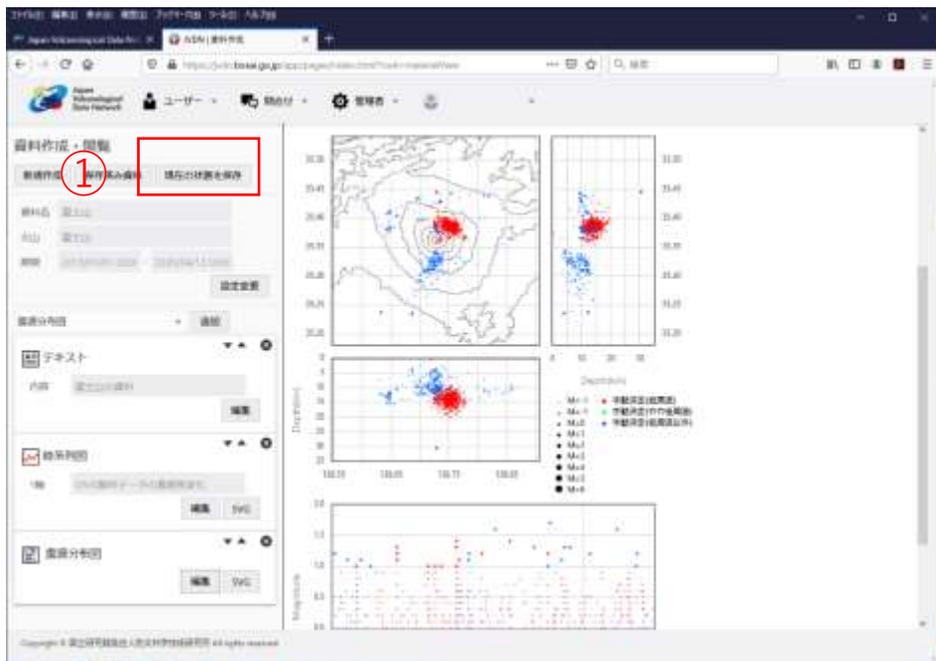


図 1 2 作成した資料の保存

- ① 作成した資料を保存する場合は、「現在の状態を保存」をクリックしてください。

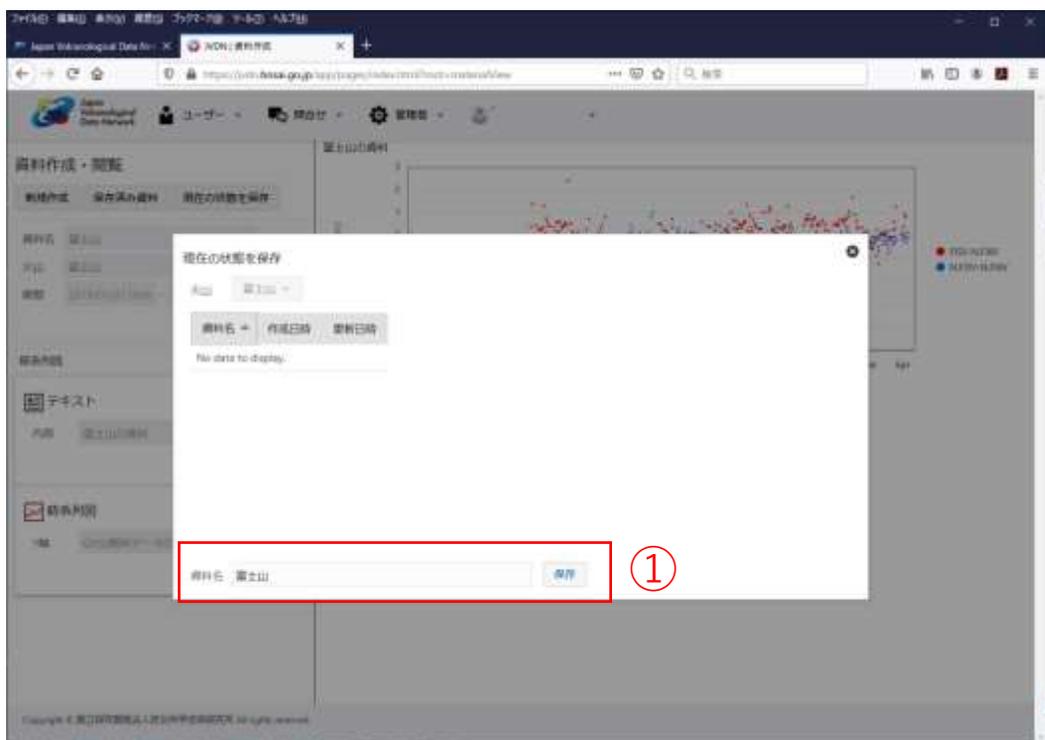


図 1 3 現在の状態を保存する画面

- ①資料名を修正する場合は修正し、「保存」をクリックしてください。
すでに同じ名前が資料があり、上書きしたくない場合は資料名を修正してください。

保存した資料の読み出し

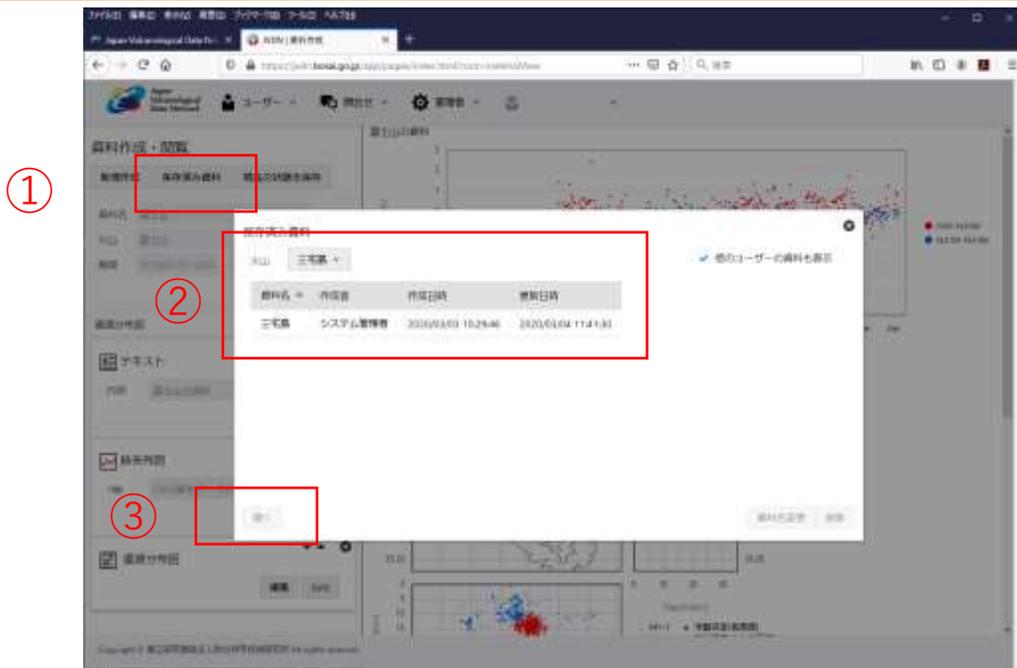


図 1 4 作成した資料の保存

- ①保存されている資料を読み出すには、資料作成・閲覧画面の「保存済み資料」をクリックしてください。
- ②保存済み資料選択画面で火山と資料名を選択してください。
- ③選択したら「開く」をクリックしてください。

注意点 6

グループの他のユーザやシステム管理者が公開している閲覧することができます。これらの資料は、表示期間などを修正して自分の資料として保存することができます。

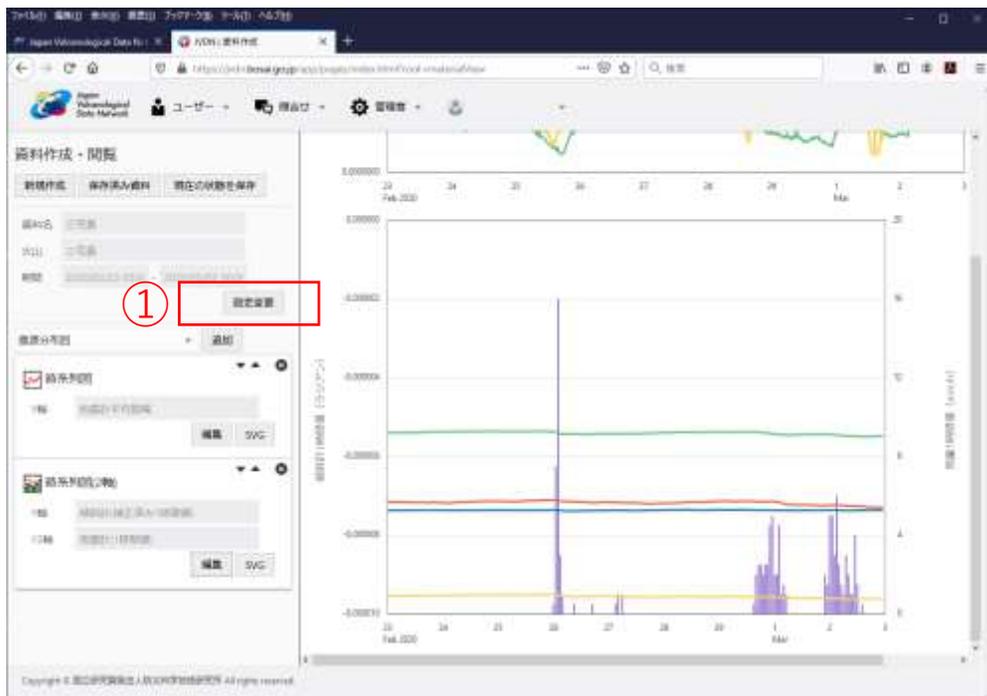


図 1 5 読み出した資料

- ①表示する期間などを変える場合は、「設定変更」をクリックしてください。

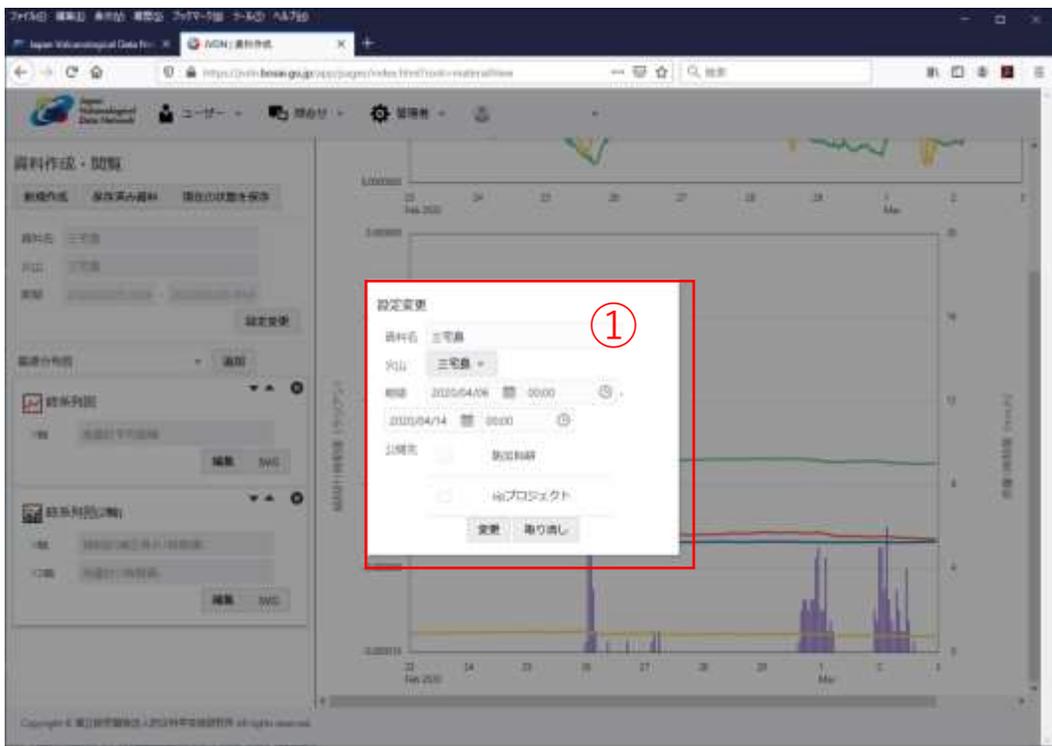


図 1 6 設定変更

①設定変更画面で、表示する期間や公開先などを変更し、「変更」を押してください。

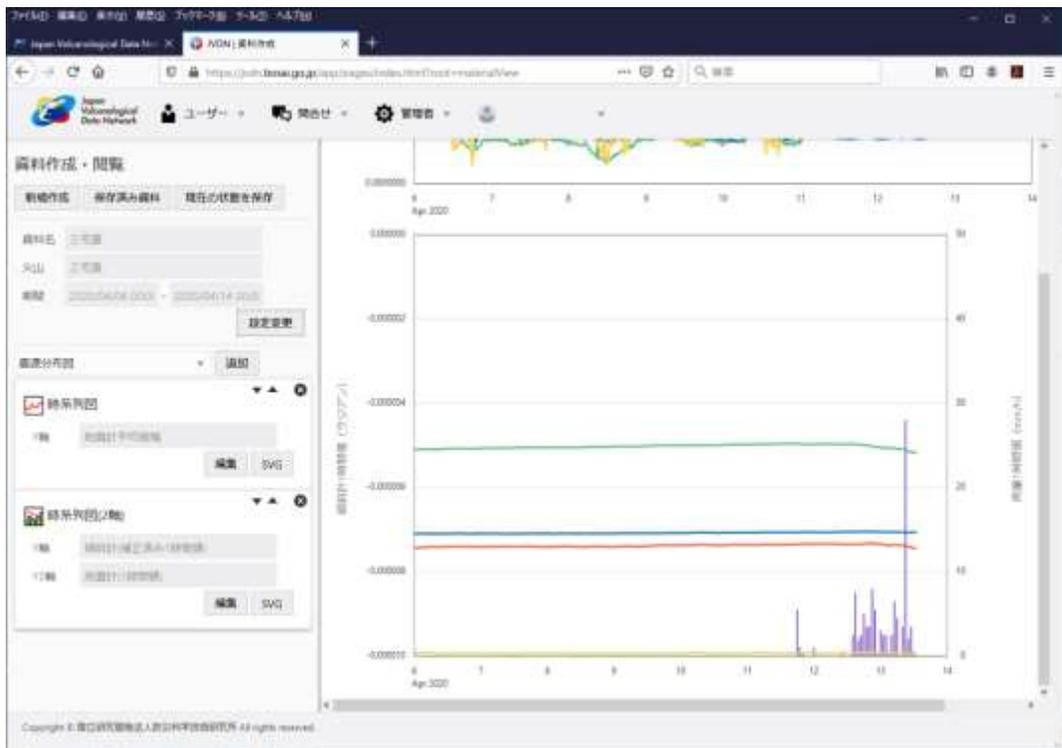


図 1 7 変更後の画面

変更後、図が更新されます。

図のダウンロード

作成した図を編集可能なフォーマット（SVG形式）のファイルでダウンロードできます。イラストレーター等のソフトウェアを使って編集してレポートなどに利用できます。

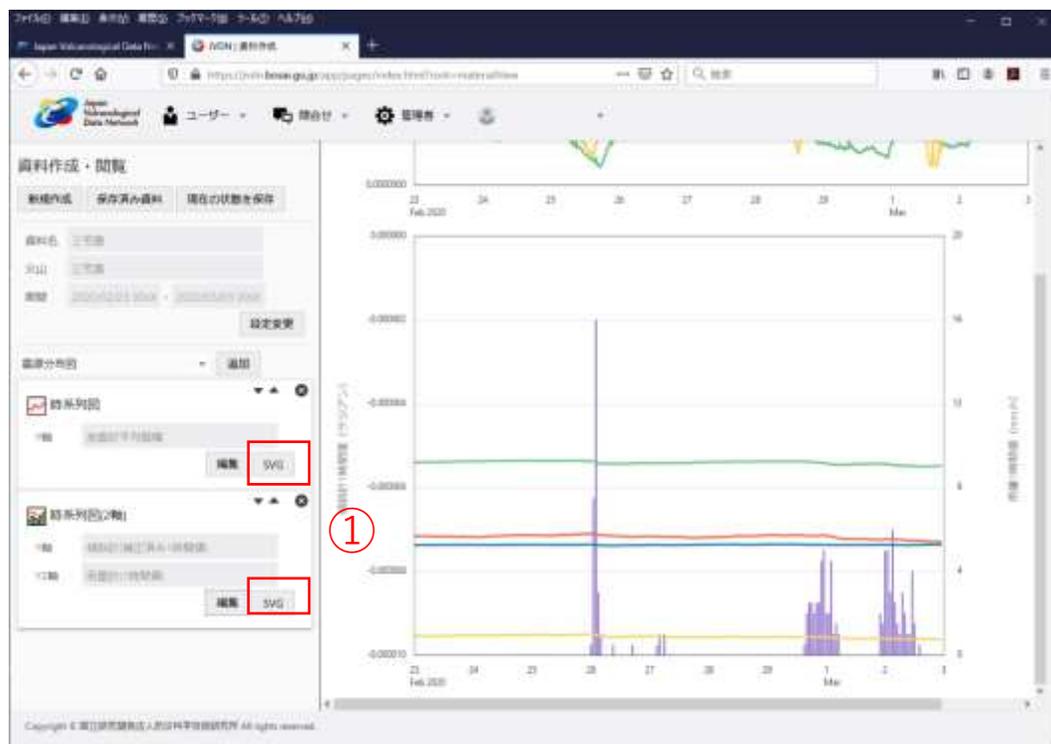


図 1 8 SVGファイルのダウンロード

①それぞれの図の「SVG」をクリックし、ファイルをコンピューターに保存してください。

注意点 7

ダウンロードしたSVGファイルをソフトウェアで開くと、正常に表示されない場合があります。その場合は、別のソフトウェアで一旦開いた後、上書き保存すると正常に表示できる場合があります。